


未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4396
23年11月7日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

10月期定例窓口報告

おはようございます。

昨日は三連休明けの月曜日で、集配では平常日200パーセント前後の困難日でした。出勤の皆さん大変お疲れ様でした。また今日は先週末までの最高気温が25度を超える夏のような気温から一転し、20度を下回る予報となっております。気温変化が大きいです。体調を壊さないように気を付けましょう。

支部は10月16日に長中局と10月期の定例窓口を行いました。支部定期大会や結成記念レセプション報告などがあり、遅くなりましたが窓口の報告をします。

長中局から

○超勤状況
9月は30時間オーバーの社員はいない。4月

から9月までの上半期期間中の超勤時間180時間(月平均30時間)オーバーの社員は1人だけで、全体的に計画通り抑えられていると考えている。

○滞留

9月は郵便物等の滞留はない。

○新規などの雇用状況
9月に行った「お仕事説明会」参加者からの新規採用は6名。郵便部3名。第一集配営業部、第三集配営業部、集荷センターで各1名。



支部から

○雇用に関して

組) 先程新規の雇用状況の説明があったが、第二集配営業部では今年4月と9月に、今年度新たに雇用した社員が相次いで早期退職した。この為前年同期から2名少ない状況が続いている。第二

集配営業部の欠員状態についてどう考えているのか。



局)「お仕事説明会」参加者の中で保留者がいる。その中から第二集配営業部への新規雇用を優先的に考えている。

組) 早期の雇用、配属を求める

○ヤマト運輸との協業に関して

組) クロネコゆうパケ引き受け開始から2週間が経つが長中局において一日当たりの平均到着数は何個か。

局) クロネコゆうパケ単体での数は出ていない。ゆうパケ全体の数の変化を見る限り大きな増加数はないので、今のところ業務に影響はないと考えている。

○外務作業の時間確保に向けた取組の実施

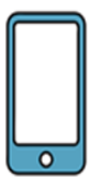
組) この施策によってどのくらい配達時間が確保できたと考えているか
局) 朝と昼のミーティングで合わせて10分ほ

ど短縮していると考えている。

○ポスタルモバイル端末(ポスマバ端末) 研修に関して

組) 研修の進め方は局) まず役職者等に先に研修して操作方法のほかに、研修の行い方を習得してもらおう。次に習得した役職者が先生となり職員に研修を行う予定。

現在(10月15日)は、研修資料を作成中で、11月から役職者に対する研修を行う。



役職者が職員に対して行う研修日程などは決まっていないみたいです。役職者任せにするのではなく、何月何日の夕方、役職者Aが職員Bに対して研修を行う等、具体的な研修スケジュール作成が必要だと考えます。

研修を受けてみて

私が先週受けた研修を報告します。班の先生役となつてほしいとのこと。計画課長からマンツーマンで受講しました。この研修は片方のポスマバ端末から流れる動画を見ながら、もう片方のポスマバ端末を操作しながら操作を習得するといふもので、本来なら先生はいなくてもよいのかもしれませんが、しかし一人で動画をみて研修を完結できる人はいないと感じました。

時間も必須の基本動画は30分ですが、端末を操作して覚えながらでは1時間ほどかかりました。また一度で覚えることが出来たのかも自信がありません。自信がない社員へのフォローも必要だと考えます。



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。 期間雇用社員の希望を主眼の正社員化を。 せむせ、均等待遇、なげん差別。 ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ。